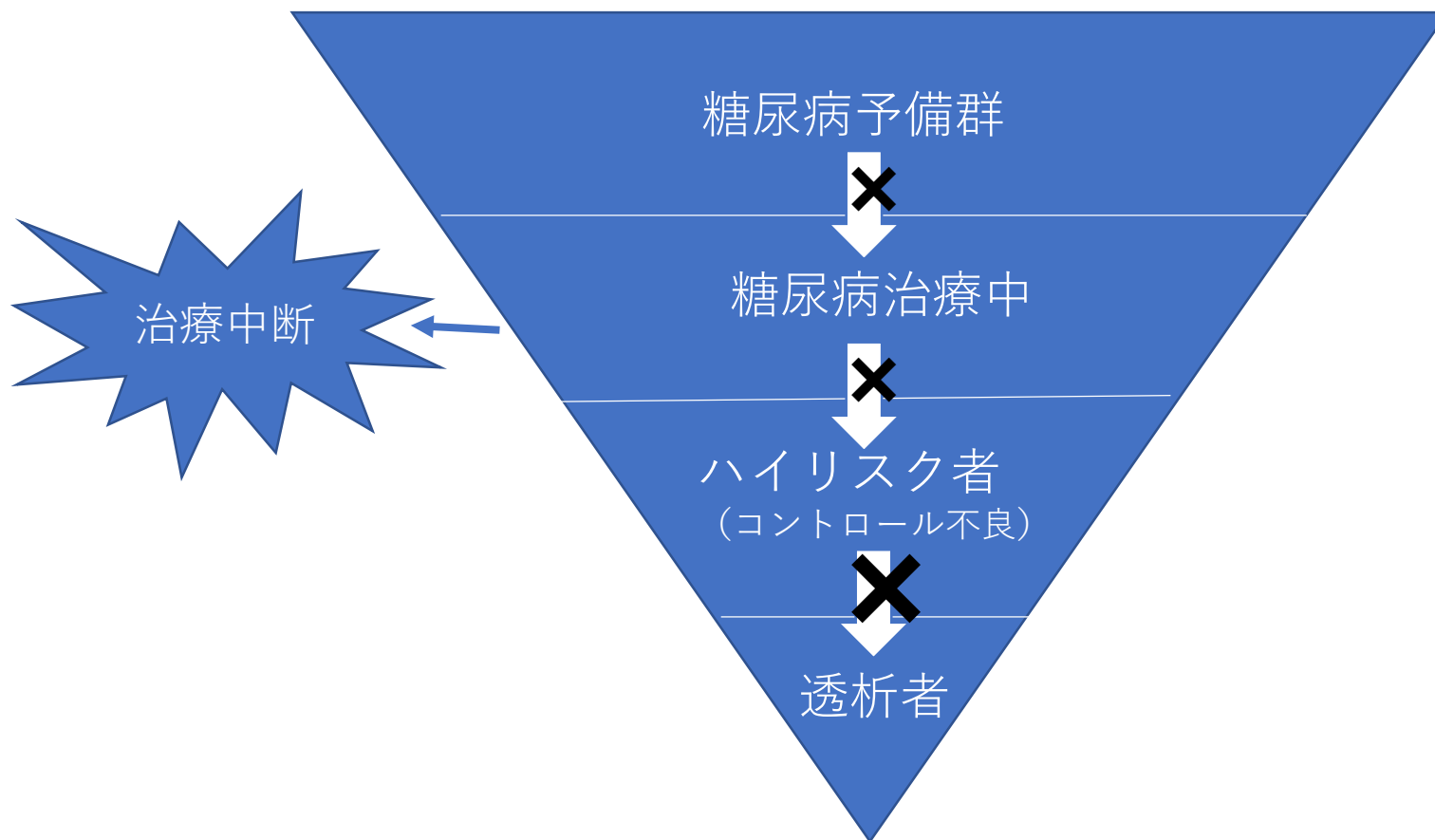


【パネルディスカッション】
それぞれの立場から糖尿病性腎症重症化
予防プログラムを考える

京都府国民健康保険団体連合会

糖尿病重症化予防事業



国保連合会の取組について

健診データ・レセプト情報は国保加入者のみを保有

- 事業対象者が市町村では国民健康保険の被保険者



①対象者抽出に関する支援

②治療中断者の対象者抽出・・・国保連合会のシステムにてレセプト情報から対象者を抽出し情報提供

- 各医療保険者における事業実施体制

専門職のいない保険者（国民健康保険組合）では、取組が進まない



事業実施ができる体制構築への支援

ハイリスク者の取組

- 関係機関（地区医師会）との連携が重要
- マンパワーの確保
- 人材登録者の協力が必要
保険者の担当者と役割分担が必要
例）かかりつけ医との連携は誰が？
- 事業評価：病期の維持・改善・保健指導の質の確保

<参考> 国保加入者における人工透析者等について

新規人工透析患者について

年	京都府	京都府内	国保	割合
2014	681		241	35.39
2015	676		255	37.72
2016	617		238	38.57
2017	672		237	35.27
2018	683		229	33.53

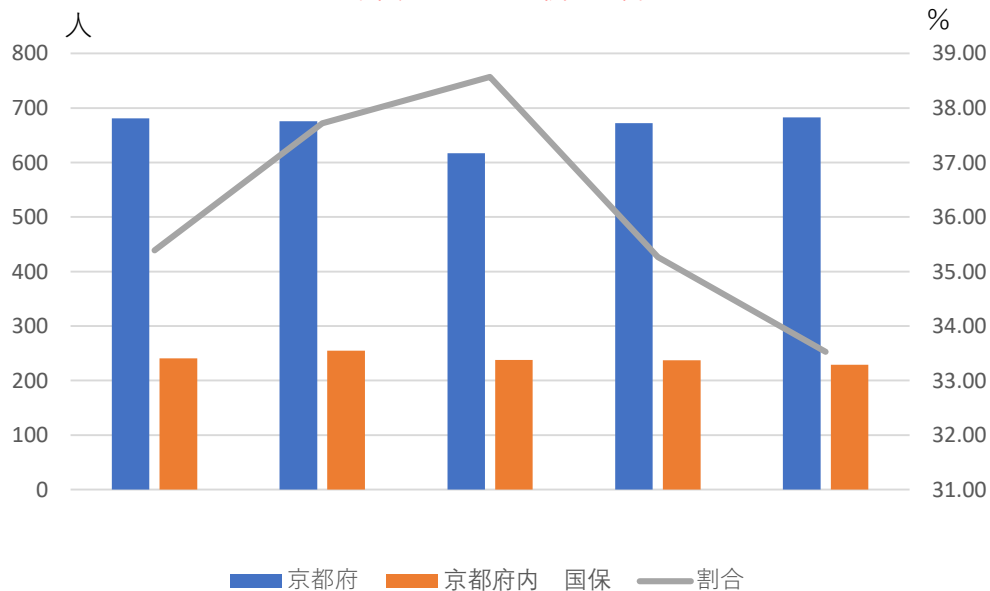
参考値のため注意！

<出典>

京都府：一般社団法人 日本透析医学会 「わが国の慢性透析療法の実況（2018年12月31日現在CD-ROM版）」

京都府内国保：京都府国民健康保険団体連合会 医療費分析システム

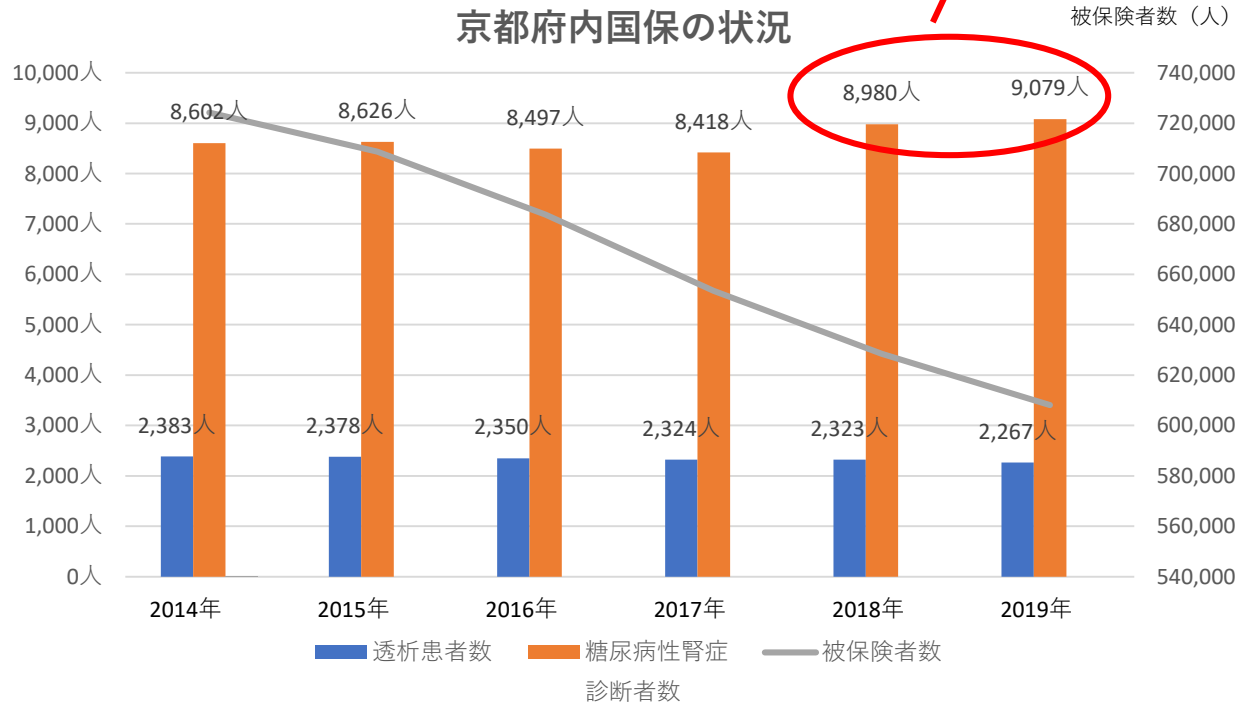
新規人工透析患者



京都府内 国保加入者の透析患者数等の状況

年度	被保険者数	透析患者数	糖尿病性腎症 診断者数
2014	724,143	2,383人	8,602人
2015	708,650	2,378人	8,626人
2016	683,675	2,350人	8,497人
2017	653,464	2,324人	8,418人
2018	628,374	2,323人	8,980人
2019	608,072	2,267人	9,079人

ここへの重症
化予防活動



【質問】

新規人工透析導入患者の年齢は何歳が最も多いと思いますか？

① 55歳～59歳

② 60歳～64歳

③ 65歳～69歳

④ 70歳～74歳

⑤ 75歳～79歳

⑥ 80歳以上